

【資料5】

高知城歴史博物館喫茶概要

平成28年9月

公益財団法人土佐山内記念財団

1. 高知城歴史博物館について

高知城の麓—

新たな文化と交流が

この博物館から始まります。

土佐と日本の歴史と文化を未来につなぐ

土佐藩主山内家伝来の貴重な資料を守り伝えながら、日本文化の魅力を発信します。

本物に出会う感動、知る喜び

こどもから大人まで楽しめる、歴史と文化との出会いの場をつくります。

地域とともに・・・

地域の博物館として、歴史と文化を活かした地域づくりに参加します。

高知城歴史博物館は、新しい博物館活動を展開します。

【高知城歴史博物館の使命】

① 山内家資料の保存・継承

山内家資料の分野は「古文書」「美術工芸」「和書漢籍」「古写真」などに及び、いずれも日本有数の質と量を誇り、学術的、文化的に高い価値を有しています。このような貴重な山内家資料を、国民・県民共有の文化遺産として、確実に後世に継承していきます。

② 近世史研究の拠点としての学術研究の推進

山内家資料は一括した形で収集・保管されている全国的にも稀な事例であり、今後の調査によって新たな歴史的発見につながることを期待されています。山内家資料や高知の歴史・文化資料の調査研究を積極的に推進し、大学などの研究機関との連携によって、全国的な学術誌研究の拠点の一つとしての役割を果たします。

③ 展示公開などによる全国発信

山内家資料の魅力を伝える常設展示や企画展示・全国巡回展の開催などによって、高知の歴史や文化への理解を深めます。また、学術研究の成果を、研究紀要や資料目録、展覧会図録の発刊、学術会議の開催などをおして広く県内外に向け発信します。

④ 生涯学習や学校教育の活性化

講座や講演会などの開催によって調査研究の成果を生涯学習に活かし、山内家資料を学習教材に活用することなどにより学校教育とも連携を深めます。

⑤ 歴史や文化による地域振興や観光振興への寄与

学術研究や文化活動の活性化に努め、県内の文化施設や地域と柔軟に連携し、地域独自の歴史や文化を活かしたイベントなどの企画に協力することで、まちづくりなど地域振興や観光振興に寄与します。

【開館時間】

月曜～土曜 9：00～18：00

日曜 8：00～18：00

(ただし、繁忙期に20時まで開館延長あり。)

【休館日】

12月27日～1月1日(平成29年度、30年度は開館する予定)

上記の他、「高知城歴史博物館」(以下「博物館」という。)の燻蒸作業のため臨時休館があります。

【観覧料】

企画展 一般700円 団体(20名以上) 560円(予定)

常設展 一般500円 団体(20名以上) 400円(予定)

※次の観覧者は、観覧料を無料とします。

①高校生以下

②身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳及び被爆者健康手帳の所持者及びその介護または介助するために必要な方(1名)

③高知県及び高知市長寿手帳の所持者

※企画展は料金が変わる場合があります

【観覧者数】

年間10万人を想定(3階の展覧会を観覧する人数の想定です)

【その他】

博物館に一般向け駐車場はありません。

事業者が物品の搬入、搬出に一時的に利用できる駐車場はありますが、事業者及び本喫茶業務に携わる社員等の駐車はできません。

2. 喫茶について

【概要】

面積：53.28㎡(うち客席41.32㎡、パントリー11.96㎡)

この面積以外に、倉庫として館内倉庫の一部を使用していただけます。

【位置づけと役割】

喫茶は、来館者の休憩の場であると同時に、博物館のサービスの一環として位置づけられます。

メニューの内容についてはご提案いただきますが、幅広い客層に対応し、高知の食材

を生かした季節感のあるメニューも提供するよう努めてください。

【基本条件】

2階喫茶は、博物館の無料ゾーンにあります。

あくまで博物館の一部としてのイメージを壊さぬよう、博物館の使命や事業内容をよく理解した上で営業してください。メニューの内容、店内のデザインなどに関しては、博物館と協議してください。

博物館の性質上、ガス・電熱コンロ等の火気を使って調理をすることはできませんが、IHコンロや電子レンジ、オーブントースター等を使用した簡易調理はできます。